

町田市立国際版画美術館 2018年度 企画展

## インプリントまちだ展 2018

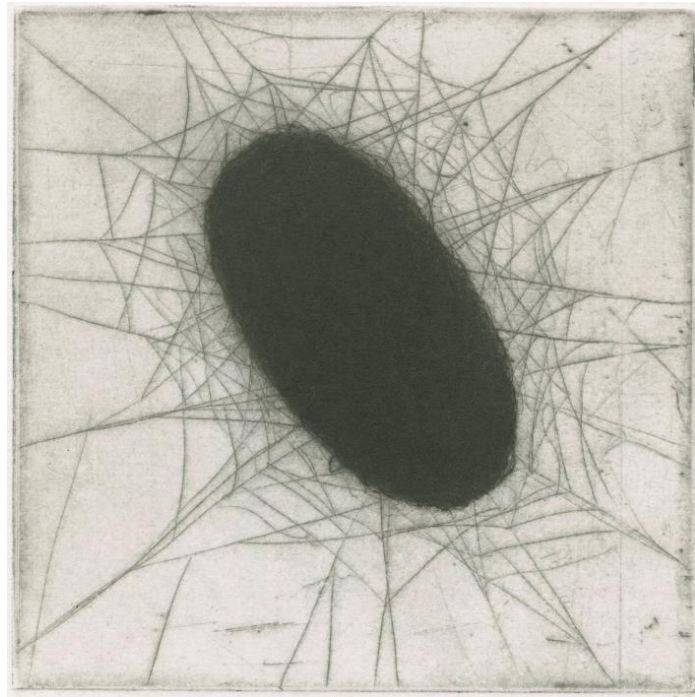
# 荒木珠奈 記憶の繭を紡ぐ

### 【展覧会概要】

荒木珠奈(あらき たまな 1970年生まれ)は、版画からインスタレーションまで幅広い創作活動をおこなってきたアーティストです。彼女は留学先のメキシコで銅版画の技法を身につけたのち、早くから独自の世界観をもつ作品を発表してきました。

その中で自身の体験や身近な存在から感じとった生と死をめぐる命のサイクルを、豊かな想像力と丁寧な手仕事によって表現してきた荒木。マチエールを活かした銅版画や、素材の質感をつよく感じさせるインスタレーションは、ときに叙情・叙事性をこえて私たちの生の感覚にうたえかけてくるものが少なくありません。あらゆる感情や感覚が生まれる以前の根源的な何かをゆさぶると同時に、見る者をつつみこぶような不思議な魅力をたたえているのです。

本展では荒木がこれまで制作してきた版画やオブジェなど約 60 点のほか、町田でも盛んにおこなわれていた「養蚕」に着想を得た新作版画とインスタレーションを公開します。彼女が紡ぎだす作品は忘れかけられた土地の記憶とともに、誰もかもっている原初の記憶を呼び覚ましてくれることでしょう。



「繭」 2018年 ドライポイント

### 【インプリントまちだ展について】

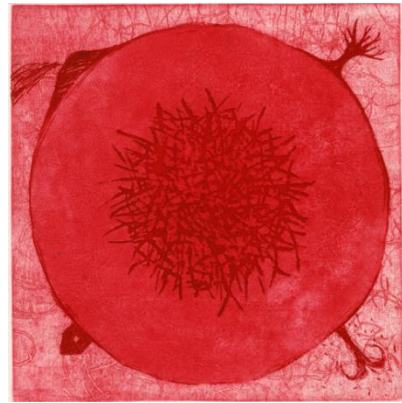
東京2020大会において、2017年から4年間にわたり開催する展覧会シリーズ。版画を制作の軸とする若手作家を毎年招聘し、町田に取材した新作を発表します。

## 【展示構成】

※掲載作品はいずれも荒木珠奈の作品です。  
※本紙に掲載した作品は広報画像としてお使いいただけます。  
件名に【広報画像希望】と明記し、「bunspo040@city.machida.tokyo.jp」までご連絡ください。

### 第1章 始源

荒木が版画と出会ったのは、留学先のメキシコでした。異国の生活のなかで目にした風景や感じた思いを、銅版画の技法で表情豊かに描きだしています。本章では独自の世界観の一端がすでに姿をみせている初期作品を展示します。



《惑星》1994年 エッチング、アクアチント

### 第2章 旅と家

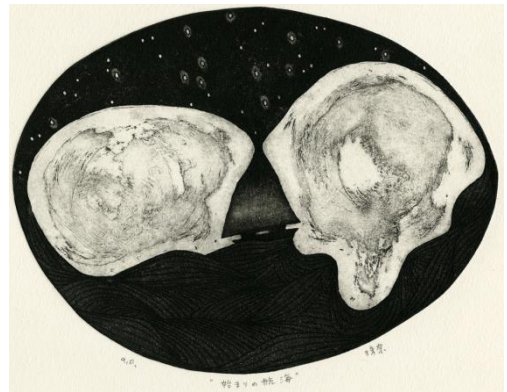
荒木は遠い旅先での思い出や、日頃の生活からインスピレーションを得て作品を生みだしてきました。彼女の表現する非日常と日常は、「ここではないどこか」への憧れと望郷の念をつよくさせる不思議な力をもっています。本章では「旅」と「家」をテーマとした作品を中心に紹介します。



《浮き雲暮らし》2000年 エッチング、アクアチント 手彩色

### 第3章 詩と命

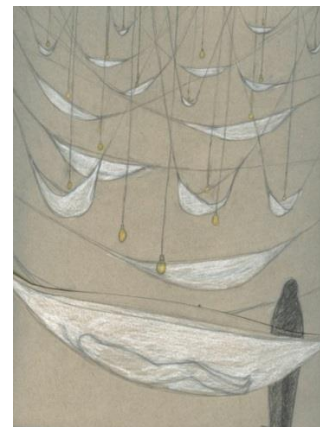
友人の詩にもとづく作品をはじめ、荒木の作品には叙情豊かなものが少なくありません。また銅版画の技法を活かした表現は、作品に命を与えると同時に視覚以外の感覚をも刺激します。本章では詩情と生命をつよく感じさせる作品を紹介します。



《始まりの航海》2007年 エッチング、アクアチント

### 第4章 記憶の繭

かつて町田でも盛んにおこなわれていた「養蚕」に着想を得て、荒木が本展のために制作した新作版画とインスタレーションを公開します。



《新作インスタレーションのためのドローイング》2017年

- 【**展覧会期**】 2018年6月30日(土) ～ 9月2日(日) 56日間  
月曜休館 ※7月16日(月・祝)は開館、翌17日(火)は休館
- 【**開館時間**】 平日10:00～17:00 土・日・祝日10:00～17:30 ※入場は閉館30分前まで
- 【**会場**】 町田市立国際版画美術館 企画展示室2
- 【**観覧料**】 一般:800(600)円/大学・高校生と65歳以上:400(300)円 ※中学生以下は無料  
**※以上の観覧料で同時開催の「版画キングダム」展もご覧いただけます。**  
※()内は20名以上の団体料金 ※展覧会初日6月30日(土)は入場無料  
※身体障がい者手帳、愛の手帳(療育手帳)または精神障がい者保健福祉手帳を  
お持ちの方と付き添いの方1名は半額
- 【**主催**】 町田市立国際版画美術館
- 【**助成**】 公益財団法人朝日新聞文化財団
- 【**協力**】 株式会社アラキ+ササキアーキテクト/suzueri

【**荒木珠奈 プロフィール**】

1970年、東京都に生まれる。1992年に武蔵野美術大学短期大学部美術科専攻科を修了後、1993年から95年までメキシコ留学(UNAM自治州立大学)。1997年には武蔵野美術大学油絵学科版画コースを卒業。現在、ニューヨーク在住。主な個展・グループ展に「ひかりのたからもの—赤崎みま、荒木珠奈二人展」(2003年、浜田市世界こども美術館)、「MOTコレクション展示:みんなの中にいる私」(2006年、東京都現代美術館)、「MAM プロジェクト008 荒木珠奈」(2008年、森美術館ギャラリー2)などがある。

【**関連催事**】

アーティスト・トーク—制作の舞台裏—

7月7日(土) 13:30～16:00(途中休憩を含む) 会場:アトリエ  
※定員30名(申込不要) ※入場無料

クロス・トーク—荒木珠奈×藪前知子(東京都現代美術館・学芸員)—

7月14日(土) 13:30～15:00 会場:講堂  
※先着100名(申込不要) ※本展観覧券が必要です(半券可)。

美術館でおはなし会—絵本と語りの時間

語り手:おはなし はすの実  
7月25日(水)、8月25日(土) 各日14:00から30分程度  
※定員15名(申込不要)※本展観覧券をご用意のうえ、企画展示室2の入口にお集まりください。

担当学芸員によるギャラリートーク

7月21日(土)、8月18日(土) 各日14:00から45分程度  
※本展観覧券をご用意のうえ、企画展示室2の入口にお集まりください。

【**同時開催**】

「版画キングダム 古今東西の巨匠が勢ぞろい！」 6月30日(土) ～ 9月2日(日)  
会場:企画展示室1 **※「インプリントまちだ展 2018」の観覧料でご覧いただけます。**  
「シリーズ現代の作家 深沢幸雄 生をきわめて」 6月20日(水) ～ 9月2日(日)  
会場:常設展示室 ※入場無料

【**問い合わせ**】町田市立国際版画美術館 担当学芸員:藤村拓也  
〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1  
[TEL] 042-726-2771 / 0860 [FAX] 042-726-2840  
[E-mail] bunspo040@city.machida.tokyo.jp [美術館 HP] <http://hanga-museum.jp>  
[公式 Twitter] @machida\_hanbi